

教員名 長坂 泰之

企画名 千林商店街における「第4回千林昭和写真展」
(ダイエーの歴史文化展示及びダイエー等に関するクイズ)

商業活性化型/イベント企画型
イベント支援・運営型
企業/その他(千林商店街振興組合)

「昭和写真展」のダイエーゾーン



ゼミ生による「昭和写真展」の準備風景



企画・活動概要

- ①ダイエーの歴史文化展示を含む展示スペースの全体管理をしました。(流通科学大学が写真を提供しました)
- ②ダイエーに関するクイズを立案・実施しました。

開催期間は2020年10月31日～11月16日でした。このうちの2日間、長坂ゼミが担当しました。

開催日	開催時間	開催場所	ダイエーの開催内容
10月31日(土)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月1日(日)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月2日(月)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月3日(火)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月4日(水)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月5日(木)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月6日(金)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月7日(土)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月8日(日)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月9日(月)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月10日(火)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月11日(水)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月12日(木)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月13日(金)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月14日(土)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月15日(日)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景
11月16日(月)	10:00～18:00	千林商店街 千林ふれあい館	「昭和写真展」の準備風景

ダイエーに関するクイズ案



京阪電鉄の中吊りに大学名

経緯・背景・目的

当初、2019年度に社会共創活動の一環として、千林商店街(本学創業者中内功氏が創業した地)及び京阪電鉄創設110年の節目の2020年4月(1日間)に①100円商店街への本ゼミ出店(綿菓子、駄菓子)、②ダイエー発祥地でダイエーに親しみを持つ店主、近隣住民が多数存在する千林商店街でダイエーの歴史文化展示の2点を計画・準備していましたが、新型コロナウイルス禍の影響で4月の活動は中止となりました。2020年度になり、千林商店街側から、②ダイエーの歴史文化展示参加の要請があり、加えてゼミ生が提案したダイエーに関するクイズを実施したのです。



初日(1回目)の長坂ゼミの集合写真

取り組み課題

コロナ禍で感染対策を講じたうえで、どのように安全・安心にイベントを実施するか、そして以下に喜んでいただけるかが最大の課題でした。写真は「昭和写真展」で見学者に説明をするゼミ生たちです。



本学(学生)の役割

ダイエーに関するクイズの風景です。ゼミ生の説明に熱心にクイズに臨む買い物客(右)と子供たち(左)。右の写真の奥には写真が展示されています。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2回の参加のうち、1回目は計画通りの運営ができませんでした。そこでゼミ生全員で問題点を抽出し、1回目ではできなかった部分についてプレストとKJ法を用いて話し合いを行いました。その結果、2度目の訪問時には適切なシフトにより各自がしっかりと自身の責務を全うし、1回目の反省をしっかりと修正し、課題をほぼクリア、スムーズな運営を実現できました。以上からゼミ生は適切なシフトの作成及びシフトを遵守させたことで計画力と規律性を、また、来場者に応じその場で臨機応変に対応することで柔軟性を成長させることができました。



1回目の反省会(プレストとKJ法を活用して話し合い)

指導教員および関係者の紹介



商学部 マーケティング学科
准教授 長坂泰之

協力先:
千林商店街振興組合、京阪電鉄

専門は、商業まちづくり、流通政策、中心市街地活性化政策、震災復興政策(中小企業診断士(経産省)、地域活性化伝道師(内閣府))

参加学生:
リーダー清水健吾君をはじめ総勢15名